

平成27年度 事業報告書

(平成27年4月1日 ～ 平成28年3月31日)

1. 自立奨学支援事業

(1) 応募状況

例年通り、9月作成の「未来のつばさ自立奨学支援制度」実施要項を全国の児童養護施設、児童相談所、社会福祉協議会等へ発送し同時に財団ホームページに実施要項を掲載した。応募申請は11月より受付を開始し、締切を12月25日とした。応募者数は自立(就職)希望者が340名、奨学(進学)希望者が268名、合計608名の応募を受理し、過去最高の応募者数であった。

応募施設を見ると、初めて応募する施設が見られ、その中には福祉型・医療型の養護施設からの応募があった。また障がい児童者数も53名と従来以上の応募があり、当支援制度のニーズと有効性の現れと感じる結果となった。

(2) 審査体制

11月4日開催された選考委員会にて選出された審査委員による第1次審査は審査員を3チームに分け、申請者1人に3人の審査員の平均点を評価点とした。

【1次審査】

チーム	構成員	審査期間	メンバー
A	財団執行部	11月～1月25日	理事長、事務局次長、 羽物評議員、前田理事
B	財団協力員	1月7日～1月29日	米林慶子氏 他3名
C	楽天生命ボランティア 楽天CSRチーム	1月18日～1月29日 1月20日	伊藤恵巳氏 他25名 小林 誠氏 他1名

【2次審査】

審査日 : 平成28年2月3日

審査員 : (選考委員) 理事長、飛岡修、米林慶子、丹澤慶子氏
(審査委員) 大久保章子氏

(3) 選考結果

本年度は当初計画に平成27年度特別枠(100名)、「書き損じはがき」寄付枠3名、及び障がい児枠5名を加え、258名を支援該当者とした。なお、この内29名が障がい児童であった。

支援区分	当年枠	特別枠	はがき枠	障がい児枠	合計
自立（就職）	100名	50名	2名	4名	156名
奨学（進学）	50名	50名	1名	1名	102名
合計	150名	100名	3名	5名	258名

*支援該当者の内、6名の支援辞退者あり。

2. 団体向け支援事業

(1) 事業の広報と推進

平成27年5月18日開催の諮問委員会にて実施要領を討議し、当面は非公募助成事業とした。また、随時受付を3期（第1期4月～6月、第2期7月～9月、第3期10月～12月）に分け受付を行うこととし、この結果昨年の6件を上回り9件の支援を行うこととなった。支援金額は一般申請分600万円、楽天株式会社、また楽天銀行より楽天クラッチ募金を通じた寄附金2155万円を財源とする特別申請分950万円となった。

(2) 選考（審査）

選考手順	審査責任者	審査方法
第1次（受付票）	事務局	実施要項規程の対象事業、申請条件の適正を確認し、所定の申請書関連書類の送付
第2次（審査票）	理事長	審査基準による審査で適合案件を全役員へ回送し、最終判断を仰ぐ
最終	理事、監事	① 申請書、②事業内容書、③事業予算書 ④ 審査票より最終審査にて採否と金額の決定

(3) 支援状況

No	申請年月 承認年月	事業主体	事業名	助成金額
1	3月30日 7月13日	全国里親会	社会的養護の将来像実現 施策策定と一部施策実施	100万円
2	4月22日 7月13日	社会福祉法人 同胞援護婦 人連盟	学習支援事業	100万円
3	9月30日 10月26日	社会福祉法人 一粒会 自立援助ホーム坂梨ホーム	“食”でつなぐ“職”	100万円
4	9月30日 10月26日	子ども虐待防止オレンジ リボン実行委員会	第9回子ども虐待防止オ レンジリボンたすきリレ ー2015	100万円

5	10月21日 1月15日	特定非営利活動法人 こどもサポートネットあいち	作文集「しあわせな明日を信じて」の6年後のたよりの追跡調査(続々編)	100万円
6	11月11日 1月15日	ふじ虹の会	IFCAセミナー	50万円
7	12月14日 1月15日	社会福祉法人 誠信会 児童家庭支援センター パラソル	心理的な課題を持つ子どもに対する支援の充実	50万円
8	11月10日 1月15日	特定非営利活動法人 Save the Beach	Challenge Forever in Hawaii	850万円
9	11月16日 1月15日	一般社団法人 ATHLETE SAVE JAPAN	アスリート X' mas サンタプロジェクト	100万円

*No1～4の事業内容は広報誌「未来のつばさ(Vol.21)」へ掲載

3. 広報活動事業

年2回の発行を行った。夏号(Vol.20号)は、「平成26年度自立奨学支援事業」を振り返っての特集、冬号(Vol.21号)は「団体向け支援事業の支援先紹介」を中心に作成し、児童養護施設等、全国里親関連団体、社会福祉協議会及び全国児童相談所など約3500部の広報を行った。また、ホームページは毎月更新し財団の最新ニュースを取り上げた。そのほか、公益財団協会寄稿、内閣府「子供の貧困対策 子供の未来応援プロジェクト」(保留中)、共同通信社にて新聞記事作成・全国の地方新聞等に掲載、神奈川県社会福祉協議会、ふくしま地域活動団体サポートセンターニュースレター掲載等へ財団事業の広報活動をしている。

4. 組織運営

(1) 各種委員会開催状況

開催日	委員会名称	審議事項
5月11日	会計監査会	平成26年度事業及び決算報告の監査
5月15日	第1回理事会	① 平成26年度事業報告書と決算報告(案)の承認 ② 新役員、評議員候補者選出の件 ③ 諮問委員選任の件
5月18日	第1回諮問委員会	平成26年度事業報告と平成27年度事業計画の諮問
6月9日	定例評議員会	① 平成26年度事業報告書と決算報告の承認 ② 新役員、評議員選任の件
6月15日	第2回理事会	① 理事長の選定決議 ② 選考委員の選出決議

11月4日	第1回選考委員会	① 平成27年度自立奨学支援事業の運営協議 ② 平成27年度審査会設置承認
2月3日	第2回選考委員会	平成27年度自立奨学支援応募の選考
2月10日	第3回理事会	平成27年度自立奨学支援、最終選考の承認
3月4日	第4回理事会	① 平成28年度事業計画及び収支予算の承認 ② 新規定「委員会規程」の承認
3月17日	第2回諮問委員会	平成28年度団体向け支援事業の実施要項の検討

* 審議事項は、主要な議案を記載した。

(2) ボランティア制度の確立

本年度も自立奨学支援制度の審査委員は多くのボランティアの尽力に助けられた。Bチームは延べ53名、Cチームは26名の協力をいただいた。

また、毎年行われている「書き損じはがき」収集活動も楽天命株式会社代理店の皆様を中心に昨年度の繰り越し分を含め70万円以上の寄付金となり、自立奨学支援の貴重な財源となった。今後も多くの方々へ呼びかけ、一般人参加の財団運営を目標としたい。

平成 27 年度 事業報告の附属明細書

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 楽天 未来のつばさ